

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

向日市店、大津店及び亀戸店における
売場空調機器更新による省エネ事業

排出削減事業者名：日本トイザラス株式会社

排出削減事業共同実施者名：環境経済株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	日本トイザラス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名①	トイザラス・ベビーザラス向日市店
住所①	京都府向日市鶏冠井町西金村 5 むこうしステーションパーク内
事業所名②	トイザラス・ベビーザラス大津店
住所②	滋賀県大津市萱野浦 25-30 パワーセンター大津 1F
事業所名③	トイザラス亀戸店
住所③	東京都江東区亀戸 6-31-1 サンストリート 2F
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	環境経済株式会社
その他関連事業者（注）（複数の関連事業者がいる場合、行を挿入し全ての関連事業者を記載すること）	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

向日市店、大津店及び亀戸店における売場空調機器更新による省エネ事業

2.2 排出削減事業の目的

売場内の空調機器を機器効率の良い機器へ更新し省エネルギー並びに CO2 排出削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存空調機器を高効率のガスヒートポンプ及び吸収式冷温水発生機に更新することにより、機器効率を改善してエネルギー消費量を削減、CO2 排出量を削減する。

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	■はい
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	■はい

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

① 代表者名の変更

② 大津店は 2015 年 2 月 1 日に閉店したため、2015 年 2 月 2 日以降はバウンダリー対象外とする。

③ 亀戸店は 2016 年 3 月 31 日に閉店したため、2016 年 4 月 1 日以降はバウンダリー対象外とする。

更新前

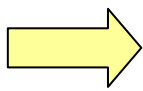


既存ヒートポンプ(廃棄)
・YCJ530M (2台)
・冷房COP:0.812
・暖房COP:1.00



既存ヒートポンプ
・YCJ530M (8台)
・冷房COP:0.812
・暖房COP:1.00

燃料:プロパン



更新後



高効率ヒートポンプ(導入)
・SGP-H560M4GZ(2台)
・冷房COP:1.35
・暖房COP:1.39



既存ヒートポンプ
・YCJ530M (8台)
・冷房COP:0.812
・暖房COP:1.00

燃料:プロパン

図1 向日市店の設備概要

更新前

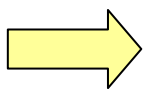


既存ヒートポンプ(廃棄)
・YMC480MC (2台)
・冷房COP:0.76
・暖房COP:0.94



既存ヒートポンプ
・YMC480MC (7台)
・冷房COP:0.76
・暖房COP:0.94

燃料:都市ガス



更新後



高効率ヒートポンプ(導入)
SGP-H560M4GZ(2台)
・冷房COP:1.35
・暖房COP:1.39



既存ヒートポンプ
・YMC480MC (7台)
・冷房COP:0.76
・暖房COP:0.94

燃料:都市ガス

図2 大津店の設備概要

更新前

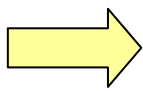


既存ヒートポンプ(廃棄)
・YMCJ560MA(2台)
・冷房COP:0.93
・暖房COP:1.17



既存ヒートポンプ
・YMCJ560MA(6台)
・冷房COP:0.93
・暖房COP:1.17

燃料:都市ガス



更新後



高効率ヒートポンプ(導入)
SGP-H560M4GZ(2台)
・冷房COP:1.35
・暖房COP:1.39



既存ヒートポンプ
・YMCJ560MA(6台)
・冷房COP:0.93
・暖房COP:1.17

燃料:都市ガス

図3 亀戸店の設備概要

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2010年5月26日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2016年12月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
004	空調設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
空調設備 (向日市店)	営業時間 (時間)	事業実施前後燃料使用量 (t/年)
		営業時間 (h)
空調設備 (大津店)	営業時間 (時間)	事業実施前後燃料使用量(千Nm ³ /年)
		営業時間 (h)
空調設備 (亀戸店)	営業時間 (時間)	事業実施前後燃料使用量(千Nm ³ /年)
		営業時間 (h)

4.2.2 活動量の採用根拠

以下の理由により、「営業時間」を活動量として採用した。

- ・設備更新の前後で売場面積の広さに変更がなく、空調設備における燃料消費量に最も大きく影響する要因は営業時間と判断できる
- ・営業時間を計測可能である

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業の範囲は、更新される空調設備及び当該空調設備により空調が行われる範囲(向日市店・大津店・亀戸店の売場)である。

5 モニタリング対象指標

①向日市店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法	(モニタリング方法に変更ある場合) 変更理由
				根拠資料	
M-1	事業実施前の燃料使用量	t /年	冷房 : 30.99 暖房 : 7.89	請求書	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量 事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/t	(2013年度) 50.1 (2014年度以降) 50.1	デフォルト値	
M-3	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 : 2140 暖房 : 1510	計測	
M-4	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013年度) 2140 (2014年度) 2140 (2015年度) 2140 (2016年度) 2140 暖房 (2013年度) 1510 (2014年度) 1523 (2015年度) 1526 (2016年度) 620	計測	
M-5	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO2/GJ	(2013年度) 0.0601 (2014年度以降) 0.0601	デフォルト値	
M-6	事業実施後の燃料使用量	t /年	冷房 (2013年度) 29.6 (2014年度) 17.0	請求書	

			(2015年度) 16.4 (2016年度) 22.4 暖房 (2013年度) 5.4 (2014年度) 3.6 (2015年度) 4.1 (2016年度) 1.0		
--	--	--	--	--	--

②大津店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法	(モニタリング方法に
				根拠資料	変更ある場合) 変更理 由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千Nm ³ /年	冷房：48.5 暖房：6.73	計測	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量 事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm ³	(2013 年度) 44.0 (2014 年度) 46.4	デフォルト値	
M-3	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房：2354 暖房：1661	計測	
M-4	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013 年度) 2354 (2014 年度) 2354 暖房 (2013 年度) 1661 (2014 年度) 1023	計測	
M-5	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO ₂ /GJ	(2013 年度) 0.0517 (2014 年度) 0.0517	デフォルト値	
M-6	事業実施後の燃料使用量	千Nm ³ /年	冷房 (2013 年度) 30.8 (2014 年度) 25.7 暖房 (2013 年度) 1.1 (2014 年度) 1.4	計測	

③亀戸店

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合) 変更理由
M-1	事業実施前の燃料使用量	千Nm3/年	冷房：45.0 暖房：7.04	計測	
M-2	事業実施前燃料の単位発熱量 事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm3	(2013 年度) 44.0 (2014 年度以降) 46.4	デフォルト値	
M-3	事業実施前の活動量 (冷房期) 事業実施前の活動量 (暖房期)	h/年	冷房：2354 暖房：1661	計測	
M-4	事業実施後の活動量 (冷房期) 事業実施後の活動量 (暖房期)	h/年	冷房 (2013 年度) 2354 (2014 年度) 2354 (2015 年度) 2354 暖房 (2013 年度) 1664 (2014 年度) 1661 (2015 年度) 1661	計測	
M-5	燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	t-CO2/GJ	(2013 年度) 0.0517 (2014 年度以降) 0.0517	デフォルト値	
M-6	事業実施後の燃料使用量	千Nm3/年	冷房 (2013 年度) 33.9 (2014 年度) 29.5 (2015 年度) 30.3 暖房	計測	

			(2013 年度) 2.5 (2014 年度) 2.2 (2015 年度) 3.4		
--	--	--	---	--	--

7 排出削減量の計算

7.1 向日市店

7.1.1 事業実施後排出量

	活動量 [h/年]	使用量 [t]	単位発熱量 [GJ/t]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,140	29.6	50.1	0.0601	89.1
冷房 (2014 年度)	2,140	17.0	50.1	0.0601	51.2
冷房 (2015 年度)	2,140	16.4	50.1	0.0601	49.4
冷房 (2016 年度)	2,140	22.4	50.1	0.0601	67.4
暖房 (2013 年度)	1,510	5.4	50.1	0.0601	16.3
暖房 (2014 年度)	1,523	3.6	50.1	0.0601	10.8
暖房 (2015 年度)	1,526	4.1	50.1	0.0601	12.3
暖房 (2016 年度)	620	1.0	50.1	0.0601	3.0
EMPj		99.5			299.5

7.1.2 ベースライン排出量

	活動量 [h/年]	使用量 [t]	単位発熱量 [GJ/t]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,140	31.0	50.1	0.0601	93.3
冷房 (2014 年度)	2,140	31.0	50.1	0.0601	93.3
冷房 (2015 年度)	2,140	31.0	50.1	0.0601	93.3
冷房 (2016 年度)	2,140	31.0	50.1	0.0601	93.3
暖房 (2013 年度)	1,510	7.9	50.1	0.0601	23.8
暖房 (2014 年度)	1,510	8.0	50.1	0.0601	24.1
暖房 (2015 年度)	1,510	8.0	50.1	0.0601	24.1
暖房 (2016 年度)	1,510	3.2	50.1	0.0601	9.6
EMBL		151.1			454.8

7.1.3 リークージ排出量 本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は0である。

7.1.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EMBL</i>	454.8 [t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EMPj</i>	299.5 [t-CO ₂]
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	<i>ER</i>	155 [t-CO ₂]

7.2 大津店

7.2.1 事業実施後排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm3]	単位発熱量 [GJ/千 Nm3]	排出係数 [t-CO2/GJ]	CO2 排出量 [t-CO2]
冷房 (2013 年度)	2,354	30.8	44.0	0.0517	70.1
冷房 (2014 年度)	2,354	25.7	46.4	0.0517	61.7
暖房 (2013 年度)	1,661	1.1	44.0	0.0517	2.5
暖房 (2014 年度)	1,023	1.4	46.4	0.0517	3.4
EMPj		59.0			137.7

7.2.2 ベースライン排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm3]	単位発熱量 [GJ/千 Nm3]	排出係数 [t-CO2/GJ]	CO2 排出量 [t-CO2]
冷房 (2013 年度)	2,354	48.5	44.0	0.0517	110.3
冷房 (2014 年度)	2,354	48.5	46.4	0.0517	116.3
暖房 (2013 年度)	1,661	6.7	44.0	0.0517	15.2
暖房 (2014 年度)	1,661	4.1	46.4	0.0517	9.8
EMBL		107.8			251.6

7.2.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は 0 である。

7.2.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EMBL</i>	251.6 [t-CO2]
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EMPj</i>	137.7 [t-CO2]
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 [t-CO2]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	<i>ER</i>	113 [t-CO2]

7.3 亀戸店

7.3.1 事業実施後排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,354	33.9	44.0	0.0517	77.1
冷房 (2014 年度)	2,354	29.5	46.4	0.0517	70.8
冷房 (2015 年度)	2,354	30.3	46.4	0.0517	72.7
暖房 (2013 年度)	1,664	2.5	44.0	0.0517	5.7
暖房 (2014 年度)	1,661	2.2	46.4	0.0517	5.3
暖房 (2015 年度)	1,661	3.4	46.4	0.0517	8.2
EMPj		101.8			239.8

7.3.2 ベースライン排出量

活動量	活動量 [h/年]	使用量 [千 Nm ³]	単位発熱量 [GJ/千 Nm ³]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]
冷房 (2013 年度)	2,354	45.0	44.0	0.0517	102.4
冷房 (2014 年度)	2,354	45.0	46.4	0.0517	107.9
冷房 (2015 年度)	2,354	45.0	46.4	0.0517	107.9
暖房 (2013 年度)	1,661	7.1	44.0	0.0517	16.2
暖房 (2014 年度)	1,661	7.0	46.4	0.0517	16.8
暖房 (2015 年度)	1,661	7.0	46.4	0.0517	16.8
EMBL		156.1			368.0

7.3.3 リークージ排出量

本事業によるリークージはなく、リークージ排出量は0である。

7.3.4 温室効果ガス排出削減量

項目		
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EMBL</i>	368.0[t-CO ₂]
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EMPj</i>	239.8 [t-CO ₂]
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0 [t-CO ₂]
温室効果ガス排出削減量 (小数点以下切捨て)	<i>ER</i>	128 [t-CO ₂]

7.1～7.3 より排出削減量は以下ようになる。

	BL 排出量 t CO2	PJ 排出量 t CO2	排出削減量 t CO2
①向日市店	454.8	299.5	155
②大津店	251.6	137.7	113
③亀戸店	368.0	239.8	128
合計	1074.4	677.0	396

8 省エネルギー量

①向日市店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
198.0	130.4	67.6

②大津店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
125.2	68.5	56.7

③亀戸店

原油換算		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
181.2	118.2	63.0

省エネ量 (合計) = 187.3 (kl)

9 再生可能エネルギー利用量

該当なし